

提言第7号 一般・療養病棟における非侵襲的陽圧換気（NPPV）及び
気管切開下陽圧換気（TPPV）に係る死亡事例の分析

事例8

< 事例概要 >

- ・ 60 歳代の患者。肺がん術後で在宅酸素療法中。肺炎の悪化により当日救急外来で NPPV 開始。自発呼吸有。一般病棟に入室。
- ・ 人工呼吸器の低換気アラーム対応のため看護師が訪室すると同時に人工呼吸器の作動が停止した。末梢冷感が強く、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）測定不能だが橈骨動脈触知可能な状態を確認。用手換気を実施するが、死亡。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。
- ・ 1 時間前に救急外来で NPPV を装着後、バッテリー駆動であったが、バッテリーが切れ人工呼吸器の作動が停止した。
- ・ 生体情報モニタはパルスオキシメータと心電図モニタを使用。